

京都教区時報

第169・170号
合併号
田中司教認可
毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨
編集 カトリックきょうと福音センター 住所 京都市中京区壬生淵田町26 Tel 822-7123

滞日外国人SOS

共に生きられる日本をめざして

鎌田 論珠 (ノートルダム教育修道女会)

くも膜下出血で倒れて

ブレンダ・ガルシアさんの医療費問題については、すでに、新聞、テレビなどの報道で見聞きされた方もあるだろう。

ブレンダさんは八幡市在住の45才のフィリピン女性であるが、今年3月はじめ、くも膜下出血で倒れた。幸い救急車で運び込まれた西京区のシミズ外科病院で緊急手術を受けることができ、一命はとりとめて、現在はリハビリに励んでいるが、問題はここから始まっている。

医療費を支払えず

ブレンダさんは1989年夏、2週間の短期上陸許可で入国、そのまま八幡市内で炊事手伝いをしてきた。このため、外国人登録証も保険証もない。脳外科の手術費、入院費、治療費などは、合計500万円に

及んでいるが、支払いの手だてがない。病院側は八幡市の福祉事務所と京都府の福祉保険課へ保護を願っていたが、ことわられた。病院としては高額な医療費を請求するあてがないわけだ。

近年、この種の外国人による医療費支払い不能のケースが増加の一途をたどっている。これは医療機関にとっても深刻な問題であるが、緊急医療を必要とする事態に陥った外国人にとっては、命にかかわる問題である。もし、このまま政府の対応が変わらなければ、医療機関はやがて——ある機関ですら——支払い不能とみられる外国人救急患者を「専門の医師がいけない」「設備がない」などを理由に断り、たらいまわしにして手遅れにするケースもふえてくるのではないか。

緊急医療保護の施策を

ことばもともに通じない日本で病に倒れ、幸い一命はとりとめたものの医療費も払えず、強制送還の日を待機しているブレンダさんはどれほど心細い思いをしているだろう。このことをききつけ、滞日外国人の生活を心にかけて連帯しようとしている人々の間で「ブレンダさんの闘病を支える会」が発足した。会の目的はまず第一にブレンダさんを訪ねて精神的にもその支えとなり、必要としている医療費を募ることである。

しかし、仮に500万円全額が寄付で集まり、ブレンダさんは救われたとしても、同様のケースは全国にあとを断たない。行政が、条件を問わず、緊急な医療保護の施策をとらない限り、問題の根本的解決とはならないのだ。そこで、会は第2の目的として、市民の間に理解の輪を広げながら、行政と粘り強く対話していくことをめざしている。

教師をしていて

なぜ日本で炊事婦を

ブレンドさんのケースに対して「不法滞在者に公金から医療費を出す必要があるのか」との疑問は意外に多い。ブレンドさんは大学生を頭に中学生までの6児の母である。マニラでは小学校教師をしていた。このことがわかると「教師までしてなぜ日本で炊事婦をしなければならぬのか」「子供を残して2年も外国に居るとは」。「超過滞在を知りながら居残っていたのだから本人の責任だ」などの反応が出る。

ところが、ブレンドさんの教師としての給料は3千ペソ(約15,000円)これは子供たちに食べさせるだけが精いっぱい収入だ。子供を一人大学に入れば月々2,000ペソはかかる。子供の将来を考え、できるだけ教育を与えてやりたいと願う親心は世界共通ではないだろうか。ブレンドさんは悩んだ末、苦労を覚悟で日本への出稼ぎの道を選んだ。日本での日々は予想以上の重労働とことばや文化の違いによる緊張つづきだった。もともと高血圧気味であったブレンドさんはなるべくして倒れたといえよう。

背後に南北の経済格差と

排他的入管法

では彼女はなぜ「超過滞在」という形で日本に居残ることになったのだろうか。日本が入管管理法によって単純労働者の入国を許していないこと、一方現実には、日本で単純労働者の人手不足が慢性的になっていることが原因だ。リク



ルーターたちはこのニードに目をつけ、法の網をかいくぐって単純労働者を海外から集め、日本の労働現場に送り込んで中間搾取をしている。ブレンドさんもこのルートに乗った一人だろう。

現在彼女のような超過滞在在外国人が日本に30万人はいるともいわれている。彼らの多くは3K労働(危険、汚い、きつい)の現場で安い労働力として使われているの

だ。こうしてみると、彼らの「不法滞在」は南北の極端な経済格差と、日本の排他的入管法に由来していることがわかってくる。

行政との対話みのり

八幡市が要望書提出

「支える会」は3月以来、2カ月半にわたって八幡市、京都府、厚生省との交渉を重ねてきたが、5月24日、八幡市福祉事務所長が京都府知事と厚生大臣にあてて「外国人に対する生活保護の準用に関する要望書」を提出した。これは対話の大きなみりであったと評価しているが、厚生省は相変わらず日本の利己的な考えに基づく「単純労働者しめだし」の姿勢を変えようとはしていない。こうした中で八幡市を支え、他の自治体にも働きかけていくことが次のステップだろう。

キリスト者の受けているチャレンジ、人間の尊厳に基づく真の人権思想を

第45回国連総会は昨年12月「移住労働者とその家族の権利に関する国際条約」を採択した。同条約

は、超過滞在者も含めたすべての外国人労働者とその家族に、労働条件や社会保障、教育などの面で受け入れ国の市民と同等の権利を与える内容になっている。

条約採択には終始消極的で、他国と歩調をあわせるために採択に参加したものの、「わが国は単純労働者を受け入れていない」などの理由で、批准はしない方針だと言っている。

人権後進日本の社会、人間の尊厳に基づく真の人権思想を根づかせるために、私たちキリスト者の受けているチャレンジは大きい。

ブレンドさんの闘病を支える会

代表：中村尚司(竜谷大学教授)
事務所：京都・アジア文化交流センター
京都府久世郡久御山町佐山双栗37
☎0774(43)8220

カンパ振込先

郵便振替 京都3-70518
「ブレンドさんの闘病を支える会」

*ニュースレター集会のおしらせ、資料などご希望の方は事務局までご連絡ください。

教区事務所よりお知らせ

1. 司祭異動

東舞鶴教会主任(4月1日付)
井田 明師(西舞鶴教会)
大和高田教会主任(4月1日付)
ジョン・ヒル(奈良教会)
御所教会主任(天和八木教会と兼任)
ヨゼフ・ルーニー師(天和高田教会)

2. フイリピン宣教会の2司祭を

京都教区で宣教に任命
26年前フイリピン司教団によってシン枢機卿を保護司教として創立されたフイリピン宣教会はアジアの宣教を主な目的としています。日本には京都教区を最初の宣教地として次の2名の方が来られました。

ジュード・タデウスベシンガ師
1988年司祭叙階(30歳)
プリミティブ・パラバス師
1990年司祭叙階(41歳)
▼2年間日本語の勉強のため、ジュード師は桃山教会、パラバス師は高野教会から学校に通われます。

3. 湾岸戦争中救済金の「献金に」協力

いただきありがとうございます。
献金は避難民輸送のために4機チャーターし、まだ2億円余りの資金が残っています。このお金は戦争被害者救済や避難民、飢餓線にある難民の救済のために使われます。これからもご協力ください。

浦和教区司教任命
('91.6.29付)
新司教 岡田武夫師

浦和教区は長期にわたり司教不在でしたが、このほど1年1カ月ぶりに新司教が任命されました。岡田師は1986年から日本カトリック宣教研究所所長をされ、「宴への招き」など多くの著書があります。

格安でお売りします

●河原町カトリック教会

宣教百年の歩み

(献金1,000円)

●扉をひらいて

昨日、今日、そして明日に向けて
カトリック京都教区創立50周年

(献金500円)

申込み先 ☎075(211)3025
京都教区事務所まで



6,058,260円の

募金が寄せられています

あの脅威のサイクロンが、バングラデシュのチッタゴン地方を襲ってから約2カ月が過ぎました。その後も幾度となくサイクロンや竜巻が襲来し、今もなおあちこちに爪痕を残しています。家を失った人、家族を亡くした人、せつかく育てた田畑が台無しになり食べ物にも事欠く人。大切な家畜を失いその悲劇の漂う中必死に作業をする姿や収容された遺体がトラックに山積みになっている写真など当時の悲惨な様子が私たちのもとへも届いています。チッタゴン司教区のロザリオ司教様のお手紙によれば、最近ゴンノジというところに竜巻が襲い人々の家の90%が破壊されたとのこと。次から次へと見舞われる災害にバ

ングラデシュの復興は深刻な状況にあります。

しかし、今回田中司教様や私達KYOSIAからの緊急救援の呼びかけに京都教区の皆さんをはじめ全国の数多くの方々に援助していただき、6月20日付で6,058,260円が集まりました。サイクロンが起こつてすぐ1万ドルをカリタス、バングラデシュに送りましたが、ようやくチッタゴン司教区とも連絡が取れ、今後は直接チッタゴンへ送ります。送ったお金はロザリオ司教様、フイリッププロザリオ神父様を通して家屋の復興、薬や食糧の補給、そして今後このような災害のためにシェルターの建設などいろいろなことに関与してまいります。

ロザリオ司教様からも京都教区のみな様へお手紙が届いています。皆さん、本当にありがとうございます。2年前から始まった交流がきっかけとなり、皆さんのあたたかい援助がバングラデシュの人々の大きなエネルギーになると信じています。ドンノバット。(ベンガル語でありがとうという意味)

お知らせ

教区スケジュール

7月

20日 部落問題委員会学習会
28日(日)子羊会例会(大津教会)

8月

4~6日教区中学生広島巡礼
4日(日)結婚相談室開設PM1:30~
6~15日平和旬間
11日(日)教区一斉平和祈願ミサ
14日 京都府北部信徒連合会
聖母行列(報恩寺教会)

草津教会新築祝別ミサ
22~24日司祭・修道士研修会
23~25日SVP全国大会
24~25日教会学校リーダー養成
研修会(野外礼拝センター)
部落問題委員会合宿
子羊会合宿
青年センター運営委員会合宿

鴨川辺りの聖堂で、静かな
祈りのひとときを過したい方:
個人指導の黙想をご希望の方
いつでも、ご連絡ください

〒京都市左京区下鴨中川原町110
カロンテレット聖ヨゼフ修道院 Sr齊藤
まで ☎075(781)0669

▼カトリック京都南部高校生会

夏のワークキャンプのご案内

日時 8月16日~19日
行先 国立療養所「大島青松園」
問合せ 滝野師まで
☎075(691)3296

▼「京都ぶどうの会」

ワークキャンプのご案内

日時 8月12日~16日
行先 国立療養所「大島青松園」
宿泊 大島青松園カトリック教会
費用 14,000円
対象 18歳以上の男女
申込・問合せ 松尾昭三 ☎075-641-1261

'91年
アジア太平洋地域の戦争犠牲者
に思いを馳せ、心に刻む集会

▼京都(第5回)

日時 8月10日(土)PM3時~6時
場所 河原町カトリック教会
☎075(211)8021
主催 京都集会実行委員会

▼三重(第4回)

日時 8月11日(日)AM10時~PM4時
場所 石水会館(津市の内918)
☎0592(27)5677
主催 三重集会実行委員会

▼大阪(第6回)

日時 8月15日(木)AM10時~PM7時
場所 森ノ宮ピロティホール
(JR地下鉄森之宮駅下車すぐ)
☎06(944)1151
主催 集会実行委員会

▼映画上映会のご案内

アリランのうた
オキナワからの証言

日時 9月14日(土)(3回上映)
PM1時30分・4時・6時30分
場所 ルネサンスホール

▼全国共通前売鑑賞券 おとな1、
200円(当百1,500円) 小中高800
円(当百1,000円) ▼申込み方法 郵便
振替で京都4-169163「アリ
ランのうた」へ▼問合せ先 ☎075
(822)7123 石原まで

京都南部平和への歩み ともに生きよう(人と人)

日時 8月11日 PM2:00~
場所 河原町カトリック会館
講師 中島 哲演 師
(小浜市明通寺副住職)
平和行進 PM4:00~

▼長編カラーアニメーション映画

「キムの十字架」特別公開!!

日程 7月21日(日)10時・12時30分・3時
7月22日(月)10時・12時30分・3時
7月23日(火).....
会場 シルクホール(京都産業会館)
上映協力券 大人9000円(当百1,000円)
子供7000円(当百900円)

▼上映協力券申込みは福音センタ
ーSr桂川まで ☎075(822)7123
▼7月24日(水)宇治市文化センター
でも上映。

お詫びと訂正
168号(6月号)P3募金振込先口座名義
(誤)京都アジア交流委員会
(正)京都教区アジア交流委員会
編集部より訂正しお詫び申し上げます



大人ってどうして自分の子供のときのこと忘れて子供が一番望んでいることがわからないのだろうと子供は思う。親は子供のことを思っ
てよい学校に入れたいというが、早く
定年をまわびている子供もいる。
(八)